

就労系福祉サービス事業所見学

(令和元年9月9日 訪問記録)

いよいよ、プロジェクトが外部に向かって動き出しました。今回の見学は、福祉サービス事業所の就労支援の取り組みや配慮を学び、自社の雇用管理に取り入れたいという思いがあり企画しました。また、就労系福祉サービスを利用している方に対し、就職に向かうためのモチベーションに働きかける意味合いも目的の1つです。

1回目の「就労系福祉サービス事業所見学」が終わりました。

今回は(株)オカモトホールディングス・(株)土幌振興公社・(株)フクハラ・帯広けいせい苑・芽室けいせい苑・十勝毎日新聞社のプロジェクトメンバー6名と帯広市役所2名、事務局(十勝障がい者就業・生活支援センターだいち)2名の計10名で訪問しました。

1件目…ウエルズ(就労継続A型)

見学したのは「洗車専門店ライドオン」です。施設外就労先として、洗車業務・オイル交換・室内清掃に携わっている現場にお邪魔しました。34℃の暑さの中、汗を流しながら一生懸命に作業にあたる姿に好感を持った方が多かったようです。見学後、利用者さん2名との座談会を行っていただき、彼らの今の状態や目標を知ることができました。メンバーからも、「体調が



悪くなる前兆がわかると一緒に働きやすい」「相談ができるのは何よりも大切」など意見が出ていました。

その他の活動場所として、レストランの施設外就労先とお弁当を作る拠点があり、現在17名の方が利用しています。(注：施設外就労とは、事業所が企業から請け負った仕事を、企業の現場に利用者さんが出向いて行って仕事をする仕組みです)



2件目…株式会社マイハーモニー(就労継続A型事業所)

弥生通り沿いにある「十勝ベーグル カフェールトゥ」というマイハーモニーが運営しているカフェに訪問しました。料理作りや注文・接客も利用者さんが対応してくださり、おいしいランチをいただきました。

食事後は、利用者お2人が「自分



の得意なことや今後の目標」を作文にして発表してくださいました。「おいしいと言ってもらえるのがやりがい

になる」「スイーツが作れるようになった」などの発表の内容に、メンバーから「おいしかったです」「それはすごいですね!!」などの声がかかり、利用者さんのモチベーションにつながったとの感想をいただきました。



3 件目・・・ペットショップいきものがかり（就労移行支援事業所）

最後は「いきものがかりラビット店」へ訪問しました。利用者さんと作製しレイアウトした店内は、仕事をしやすいように導線を工夫したり、ワゴンに作業ごとの道具を分けて積む工夫をしている話を聞き、メンバーからも参考になったとの声が上がりました。その後、事業概要や支援理念の説明を受け、利用者さんへの質問コーナーもありました。

作業を通じた取り組み以外、相談や休みの連絡などを通し、24時間対応をしてはいるが「今すべき電話なのか」「必要な話なのか」を都度考えてもらいながら社会に出るための訓練をしているとのことでした。



見学後メンバーから、「一般でも連絡ができない社員がいる」「注意をするとやめてしまうため、困っている」との感想があり、社会に出るまでの準備は一般の方にも必要な取り組みであるとの話題になりました。また、仕事環境の工夫や、誰が見ても作業ができる指示書の活用は、今の時代の多様な働き方を考える上でヒントになったとお声をいただきました。

また、今回の見学を引き受けてくださった事業所の方からは、利用している方のモチベーションへの働きかけになったと感想をいただいております。

「1年後、2年後、社会で働いている姿に出会えることを楽しみにしている」というプロジェクトメンバーから頂いた言葉は、皆さんの励みになったと感じました。

この活動は、9月19日・10月4日と続き、計9事業所を訪問する予定です。

ぜひ、事業所の皆様も、この活動を利用者さんの就職への意識付けにご利用いただければと考えています。

次回の報告も、ご期待ください。